

かいとう 算数解答

①	3484	②	1911
③	38	④	$\frac{4}{15}$
⑤	130	⑥	16
⑦	4032		
⑧	35	こてきて、10	cmあまる。

3点 × ()
小計 / 24

④	83	度
⑤	97	度
⑥	7	
⑦	72	度
⑧	12	cm

4点 × ()
小計 / 8

3点 × ()
小計 / 8

4点 × ()
小計 / 8

⑨ イ, エ

⑩ 34

⑪ cm

①	95000
②	2480000
③	100
④	6.25
⑤	5.1
⑥	570
⑦	0.243
⑧	0.25

3点 × ()
小計 / 24

選択問題 I

⑥	7	(人)
⑦	9	人
⑧	8	(人)
⑨	27	人
⑩	29	人

4点 × ()
小計 / 24

選択問題 II

⑪	135	cm ²
⑫	169	cm ²
⑬	76	cm ²
⑭	142	cm ²
⑮	24	cm
⑯	5	cm

4点 × ()
小計 / 24

かい 解 説

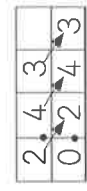
- 1 (1)⑤ $18+4 \times 28=18+112=130$
 ⑥ $288 \div (32-7 \times 2)=288 \div (32-14)=288 \div 18=16$
 ⑦ $\square \div 24=168 \rightarrow \square=168 \times 24=4032$
 (2) $5m=500cm, 500 \div 14=35$ あまり10より、輪かざりは35こでき
 て、紙テープは10cmあまりです。
 2 (1) 百の位を四捨五入します。百の位は2だから、2から下の位が切り捨て
 られ、 $95280 \rightarrow 95000$ です。
 (2) 上から4けた目を四捨五入します。上から4けた目は5だから、上から
 3けた目に1くり上がって、 $2475204 \rightarrow 2480000$ です。
 (3) 十の位を四捨五入して300になる整数は、「250以上349以下の整数」
 です。「〇以上」「〇以下」は〇をふくむから、整数のこ数は、
 $349-250+1=100$ (こ)

- 3 (1)①② 筆算は、それぞれ右のようになります。
 ③ ()の中を先に計算します。

$$\begin{array}{r} 1.72 \\ +4.53 \\ \hline 6.25 \end{array} \quad \begin{array}{r} 6.20 \\ -3.51 \\ \hline 2.69 \end{array}$$

 $13.37-(3.8+4.47)$
 $=13.37-8.27=5.1$

- (2) 0.01が10こで0.1、0.01が100こで1です。 $5.7=5+0.7$ より、
 5は0.01が500こ、0.7は0.01が70こだから、 $500+70=570$ (こ)
 (3) 小数を $\frac{1}{10}$ にすると、右のように各位の数字は
 1つずつ下がります。 $2.43 \rightarrow 0.243$
 (4) 食べたおもちの合計は、 $1-0.37=0.63(kg)$ だから、お正月に食べ
 たおもちは、 $0.63-0.38=0.25(kg)$

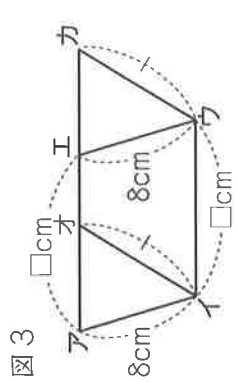
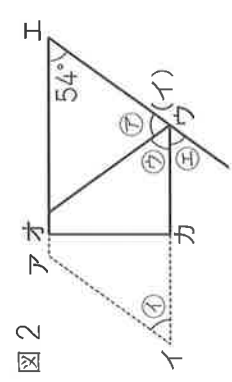
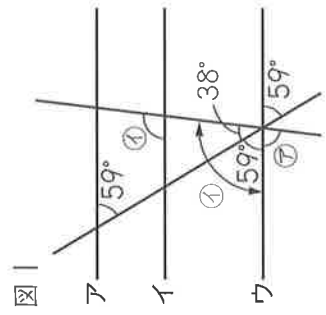


4 等しい角度をかき入れると右の図1のように
 なります。

- (1) ⑦ $=180-38-59=83$ (度)
 (2) ④ $=38+59=97$ (度)

5 (1)② ひし形にあてはまるのはア、ウ、オ、正
 方形にあてはまるのはア、イ、ウ、エ、オ
 です。よって、正方形にあてはまり、ひし
 形にはあてはまらないものはイ、エ。

- (2) 平行四辺形の向かい合った角の大き
 さは等しく、折り返した角の大きさは
 等しいから、右の図2で、⑦=①=
 54度です。また、アエとイウは平行
 だから、④=54度です。よって、
 ⑦=180-54-54=72(度)



- (3)① 平行四辺形の向かい合った辺の長
 さは等しいから、右の図3のアエ(図
 の□cm)の2つ分の長さは、
 $40-8 \times 2=24$ (cm)で、
 $\square=24 \div 2=12$ (cm)

- ② オカとイウの長さは12cmだから、オアの長さは、 $(42-12 \times 2) \div 2$
 $=9$ (cm)です。三角形アオエで、アオの長さは、 $24-8-9=7$ (cm)
 だから、オエの長さは、 $12-7=5$ (cm)
 よって、四角形オイウエのまわりの長さは、 $9+12+8+5=34$ (cm)

6 (1) 右の表の㉔～㉚は、次のような人を表します。

㉔ アイスホッケーは体験したことがないが、スピードスケートは体験したことがある。

→ウ

㉕ アイスホッケーとスピードスケートの両方とも体験したことがある。

→ア

㉖ アイスホッケーは体験したことがあるが、スピードスケートは体験したことがない。→イ

㉗ アイスホッケーとスピードスケートの両方とも体験したことがない。

→エ

(2) 表から、㉘=26-15=11(人)だから、㉙=11-4=7(人)

(3) 両方とも体験したことがない人の人数は表の㉚にあてはまる人数です。

㉚=6-4=2(人)だから、㉛=15-2=13(人)です。両方とも体験した

ことがある人の人数は表の㉕で4人だから、人数の差は、13-4=9(人)

*㉜=26-6=20(人)より、㉜=20-7=13(人)と求めてもよいです。

アイスホッケー	スピードスケート		合計
	ある	ない	
ある	㉕4	㉖7	㉗6
ない	㉘㉔	㉙㉚	㉛㉜
合計	㉘㉔	㉕15	㉖26

7 (1) ㉔=33-12-9-4=8(人)

(2) 下の表の㉕にあてはまる人数を求めます。㉖=8+7+13=28(人)だから、㉗=92-27-28-10=27(人)

(3) 2組で東町に住んでいるのは表の㉘、3組で西町に住んでいるのは表の㉙、2組の人数は表の㉚にあてはまる人数です。㉘=27-12-7=8(人)だから、㉙も8人です。よって、㉚=27-9-8=10(人)より、㉛=8+10+7+4=29(人)

*㉜=10-4-4=2(人)より、㉝=7+8+13+2=30(人)だから、

㉞=92-33-30=29(人)と求めてもよいです。

クラス	住所調べ					合計
	東町	西町	南町	その他		
1組	12	9	㉔	4		33
2組	㉕	㉖	7	4		㉗
3組	7	㉘	13	㉙		㉚
合計	㉛	27	㉜	10		92

8 長方形の面積=たて×横，正方形の面積=1辺×1辺です。

- (1) $15 \times 9 = 135(\text{cm}^2)$
- (2) $13 \times 13 = 169(\text{cm}^2)$
- (3) 下の図4のように，㊸と㊹の長方形に分けて求めると，

$$4 \times 6 + (8 - 4) \times (7 + 6) = 24 + 52 = 76(\text{cm}^2)$$

*下の図5のように，㊺と㊻の長方形に分けると，

$$(8 - 4) \times 7 + 8 \times 6 = 76(\text{cm}^2)$$

下の図6のように，大きい長方形から㊼の長方形を取りのぞくと，

$$8 \times (7 + 6) - 4 \times 7 = 76(\text{cm}^2)$$

図4

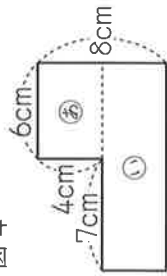


図5

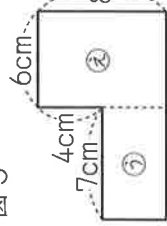
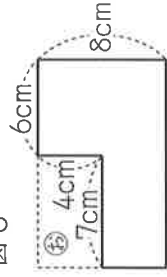


図6



(4) 右の図7で，正方形アイウエと正方形

オカキクの面積は，それぞれ，

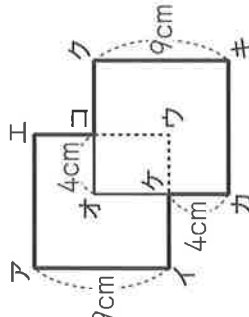
$$9 \times 9 = 81(\text{cm}^2),$$

長方形オケウコの面積は，

$$(9 - 4) \times 4 = 20(\text{cm}^2)$$

だから，求める面積は， $81 + (81 - 20) = 142(\text{cm}^2)$

図7



(5) ① 長方形アイウエの面積について，イウの長さは， $6 + 8 + 16 = 30(\text{cm})$ だから， $\square \times 30 = 720$ より， $\square = 720 \div 30 = 24(\text{cm})$

② 長方形クケウコの面積は， 図8

$720 \div 3 = 240(\text{cm}^2)$ です。右の

図8で，長方形クケウコの面積につ

いて， $\triangle \times 16 = 240$ より，

$\triangle \text{cm}$ の長さは， $\triangle = 240 \div 16$

$= 15(\text{cm})$ です。長方形オカウキの

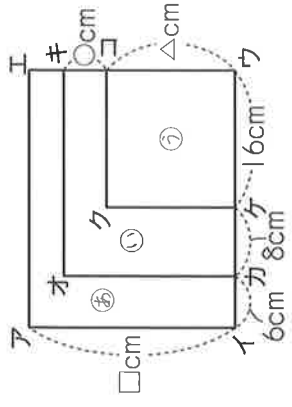
面積は，㊽と㊾の部分の面積の和で，

$240 + 240 = 480(\text{cm}^2)$ だから，長方形オカウキの面積について，

キウの長さは， $\bigcirc + \triangle = 480 \div (8 + 16) = 20(\text{cm})$

よって， $\bigcirc = 20 - \triangle = 20 - 15 = 5(\text{cm})$

*㊽を分けて考えてもよいです。



国語解答

1

小計 2点 ()
/ ()

(5)	底	のぞ	(1)
(6)	便	お	(2)
(7)	英会話	がっしょう	(3)
(8)	衣服	しょうそく	(4)

2

小計 2点 ()
/ ()

(3)	③	下	①	短
(4)	②	行	②	整
(5)	①	流	③	え
(6)	②	し	④	る
(7)	①	た	⑤	短
(8)	②	た	⑥	い
(9)	③	が	⑦	美
(10)	④	ら	⑧	し
(11)	⑤	な	⑨	い
(12)	⑥	い	⑩	温
(13)	⑦		⑪	か
(14)	⑧		⑫	い
(15)	⑨		⑬	ウ
(16)	⑩		⑭	ア
(17)	⑪		⑮	ア

(1) ひらがな以外不可

(2) ③①③表記はひらがな・漢字を問わない

3

小計 4点 ()
/ ()

(8)	ア	①	ユニホームを着ていない
(9)	カ	②	練習にきたんじゃない
(10)	エ	③	アポロズにいたって勝てないから
(11)	イ	④	クリッパース
(12)	エ	⑤	アポロズ
(13)	ア	⑥	
(14)	エ	⑦	
(15)	カ	⑧	
(16)	エ	⑨	
(17)	ア	⑩	

(1) 書きぬき。完答

(2) 書きぬき

(3) 書きぬき。完答

(4) 書きぬき。完答

4

小計 4点 ()
/ ()

(7)	エ	①	イ
(8)	ヤ	②	フ
(9)	ワ	③	ユ
(10)	ラ	④	シ
(11)	カ	⑤	ヤ
(12)	イ	⑥	ク
(13)	ク	⑦	ウ
(14)	ン	⑧	樹
(15)	デ	⑨	皮
(16)	イ	⑩	の
(17)	テ	⑪	す
(18)	、	⑫	き
(19)	。	⑬	間
(20)		⑭	か
(21)		⑮	落
(22)		⑯	ち
(23)		⑰	葉
(24)		⑱	の
(25)		⑲	下

(2) 書きぬき

(3) 書きぬき

(4) 書きぬき

(6) (別例)「やわらかで、湿っている朽ち木。」
 (別例)「水分が多く、樹皮がやわらかい朽ち木。」
 ・「やわらかい・指で容易に剥げる」にあたる内容がないものは-2点。
 ・「水気をふくむ・水気が多い・しめっている・ぬれている」にあたる内容がないものは-2点。
 ・「皮・樹皮・筋」の有無は問わない。

解説

1 漢字の読み書き

2 送りがな／音読みと訓読み／あやまつた文の書きかえ

- (1) ② 「うつくしい」のように「うしい」という形のことば(例「新しい」「悲しい」「苦しい」「楽しい」など)は、原則として「しい」が送りがなになります。
- (2) それぞれの読みは、①「ま・ひる」、②「あい・ズ」、③「ヤク・ば」、④「タイ・フウ」、⑤「マイ・ニチ」(ひらがなは訓読み、カタカナは音読み)となります。
- (3) ① 例文には「先週の土曜日」のことが書かれていますが、文末は「行く」と現在のことを表す言い方になっています。過去のことを表す形に直しましょう。
- ② 「流れた」は、「水が流れた」のように、「うが」ということばに対応する形のことばです。「うを」ということばに対応する形のことばは「流した」になります。
- ③ 「あまり」は、あとに「くない」という打ち消しの言い方をともなうことばです。

3 物語(木暮正夫「どんじりチームのVサイン」より)

- (1) すぐ前に「ユニホムを着ていない弘明」とあります。
- (2) 「やめるなんていうんじゃないでしょうね」「そのまさかぞ」という会話が前にあります。竜太は、弘明がチームをやめると言い出したことにおどろき、顔色がかわっています。
- (3)・(4) 弘明は、弱いアポロズにこのまゝいても勝てそうにないので、勝てそうなクリッパースにうつることにして、アポロズをやめようとしています。
- (5) アポロズにいても試合に勝つことはできないと見切りをつけた弘明の言葉からは、今のチームのメンバーがどうがんばっても実力をのばすのは無理だと見下す気持ちが読み取れます。本文全体を通して、弘明は、「感心、感心」と言ったり、いやらしい笑いをうかべたりして、チームのメンバーをばかにするふまゝをしていますが、「解散したほうがいい」という言葉も、アポロズのみんを思いやった発言ではなく、みんをばかにした発言です。
- (6) アポロズのキャプテンである竜太は、これまで仲間だった弘明にチームを馬鹿にするようなことを言われて、くやしがり、はらを立てています。
- (7) 本文中で、「解散なんかしてたまるかー」と言ったり、弘明をにらんだりしていることから、真介、好彦、村上清は、弘明に反感をいだいていることがわかります。弘明と同じように、試合で勝ちたくて今より強いチームにうつった人物を選びましょう。
- (8) 弘明は、来年小学校を卒業して中学校に入ったら勉強に専念して野球はやめようとしています。ここから、ウの「高校でも野球を続ける」、工の「野球をやるのは中学校までだ」はそれぞれまちがだとわかります。

4 説明的文章(矢島稔「ハチのふしぎと アリのなぞ」より)

- (2) 前の本文中に、筆者が雑木林へフユシヤクをさがしに行っていたことが書かれています。
- (3) 「なんと」が表している筆者の気持ちを考えましょう。筆者は、クワガタがいるかと思いがら朽ち木を剥いたので、そこにスズメバチがいるのを見て、おどろいています。
- (4) 第二段落に、ハチの専門家が、スズメバチが越冬する場所について、「たぶん林の中で、おそらく樹皮のすき間が落ち葉の下ではないか」と想像していたことが書かれています。
- (5) ア「さんさんと」、イ「くるくると」、工「そよそよと」は、どれも様子の感じをそれらしく表すことばで、実際にそういう音がするわけではありません。
- (7) アは「朽ち木の中にたまごを産む」が、イは「仲間といっしょに冬をこす」が、ウは「朽ち木の中で生まれ」がそれぞれまちがっています。